



ベトナム

ベトナム製造委託成功のポイント ～ 委託先選定で失敗しないために ～

はじめに

近年、国内の製造コスト上昇を背景に、「製造をベトナムに委託したい」というご相談が増えています。

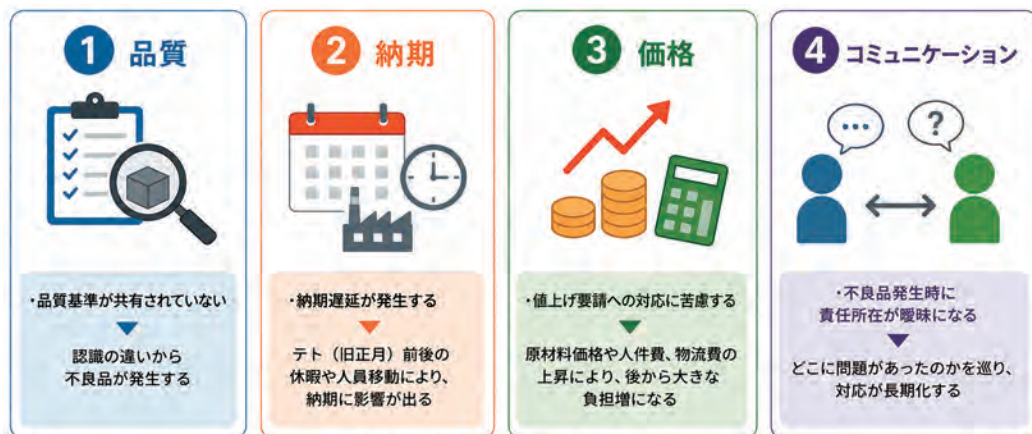
ベトナムは有力な製造拠点として注目されていますが、価格だけで委託先を選ぶと、品質不良や納期遅延、想定外の値上げなどのトラブルにつながる可能性があります。

海外での製造委託を成功させるには、「安さ」ではなく、「品質・納期・コストを長期的に安定して維持できるパートナーを選ぶこと」が重要です。

今回のアジアニュースでは、ベトナムで製造委託を行う際に押さえておきたい委託先選びのポイントと、実際によくあるトラブル事例についてご紹介します。

ベトナム製造委託の代表的なトラブル事例

ベトナムでの製造委託におけるキーワードは、① 品質、② 納期、③ 価格、④ コミュニケーションの4つです。（下図ご参照）



4つのキーワード【筆者作成】

トラブル事例 1

金属部品をベトナム企業へ製造委託している日本企業は、契約締結から約1年後、鋼材価格や人件費、海上運賃の上昇を背景に、委託先から価格改定を求められました。しかし、日本企業側は販売価格を固定した長期契約を締結していたため、価格上昇分を製品価格へ転嫁できず、その結果、価格交渉が長期化し調達計画にも影響が生じました。

（対策）

契約締結時に、あらかじめ原材料費や人件費の上昇、為替変動があった場合の価格見直しルールを決めておくことが重要です。それにより価格改定時の交渉を円滑に進められます。

トラブル事例 2

ある日本企業では、ベトナムで製造委託した製品に不良品が見つかりました。しかし、製造・輸送・保管のどの段階で問題が発生したのか特定できず、責任の所在が曖昧となり、委託先との協議が長期化しました。

（対策）

契約締結時に、「検収方法・検査時期」「品質判定基準」「不良品発生時の費用負担」「再製造・代替品の手配方法」などの事項を明確にしておくことが重要です。

製造委託成功の5つのポイント

【ポイント①】品質基準の文書化

写真付きの基準書や合格見本により、許容範囲と不良基準を明確化し、現場判断のばらつきを防止します。

【ポイント②】検査体制を決める

初品検査、出荷前検査、第三者検査などの実施タイミングと方法を事前に整理し、品質確認プロセスを標準化します。

【ポイント③】生産能力の確認

委託先より提示された仕様に加え、稼働状況や取引実績、生産体制を確認し、安定供給の実現可能性を事前に評価します。

【ポイント④】納期ルールを定める

テト休暇を含むベトナム特有の生産環境を考慮し、年間生産計画を共有することで納期遅延リスクを低減します。

【ポイント⑤】トラブル対応体制の明確化

不良品発生時の責任分担、費用負担、再製造の主体、第三者検査の活用方法を事前に整理し、対応フローを明確にします。

おわりに（YMFG がご支援できること）

当社グループでは、ベトナムにおけるネットワークを活用し、現地企業の紹介や製造委託先・調達先の探索支援を行っています。また、取引開始に向けた現地パートナーとのマッチング支援も行っており、候補先の選定から初期段階のコミュニケーションまで、円滑な進行を後押ししています。

海外進出や海外調達を検討する際には、まず

自社としてどのような事業を、どの市場で、どのような体制で展開していくのかという事業構想をできる限り明確に描くことが重要です。事業の目的や優先順位が整理されていれば、委託先や調達先に求める条件も明確になり、現地とともにビジネスを行う最適なパートナーを見つけやすくなります。

当社グループでは、こうした事業構想の整理の段階から、各種公的機関とも連携しながら、情報提供や相談対応、現地での事業展開に向けた支援を行っておりますので、お気軽にお取引店または山口フィナンシャルグループ営業戦略部営業企画室海外事業グループまでお問い合わせください。

（株式会社山口フィナンシャルグループ

海外出向【ベトナム】岩武 駿輔）

【参考文献】

JETRO（日本貿易振興機構）：

ベトナム南部投資環境調査

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2026/01/3ad1c6c4e24904a5.html>

ベトナム委託加工マニュアル

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2016/02/af2ec870cb0b40ef.html>